

Well Care

2001年9月15日 2号

発行：自治労大阪公共サービスユニオン

大阪市北区天神橋3-9-27 PLP 会館1F

TEL 06-6242-2233

FAX 06-6242-2230

ケアワーカーセミナー 「高齢者と食事」を開催！

自治労大阪公共サービスユニオンはひとりでも入れるユニオンです。



8月18日(日)午後2時から「エルおおさか」において、自治労大阪公共サービスユニオン主催で「第2回ケアワーカーセミナー 高齢者と食事 ~介護食を考える~」を開催しました。セミナーには、栄養士や看護・介護職員から家族まで約60人が参加して、ともに改めて「食」の大切さについて考えました。

講師の南幸(みなみ みゆき)さん(桜井女子短期大学教授)は、「昭和50年代の日本人の食事のとり方が理想的。食の欧米化が進んだ現在、食を見つめ直す必要があり、食生活を含んだライフスタイルを考えるべき。暦年齢と体内年齢(老化)の個人差は著しく、食事によるリスクを取り除くことで病的な老化を遅らせることもできる。高齢者にとって食事モリハビリ。」と話されました。



そして、高齢者の体の特徴として、「味覚の低下、咀嚼力の低下、骨がもろく骨折しやすい、脱水状態を起こしやすいなどがあるため、では『おいしい』という味覚だけでは不十分。視覚(盛り付けや器)・嗅覚・聴覚・触覚(歯ざわり・食感)をフルに活用して高齢者の食欲不振(低栄養の高齢者は20%)の改善をめざす。食欲の増進と消化の促進だけでなく脳を刺激することから『噛んで食べる』ことが重要。また、『食事の機能』としては、栄養的な側面、社会性を高める側面があり、を充実することがQOL(生活の質)を向上させる。食事を楽しむことが『生きる意欲』につながる」と話されました。(次ページに続く)

10月のケアワーカーセミナー 在宅精神障害者への ケアを考える

と き：10月21日(日)

午後2時~4時30分

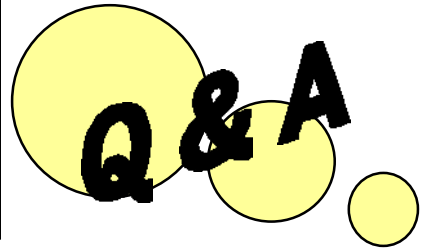
ところ：府教育会館「たかつガーデン」

講師：角田鉄太郎さん(クリニック
サザンウィンド所長・精神保健指定医)

参加：先着80人。参加費 無料

高齢者と食事

介護食を考える



講演の後、会場から質問が出されました。実践につながる内容が多くありましたので、その一部を紹介します。

Q . 痴呆症の父親が入院中、誤飲から肺炎に。インシュアリキッドを試してみたが再発。もう一度口から食べさせたいが、どうしたらいいか。

A . 少しずつ溶けるゼリーやアイスクリームの方が誤飲は少ない。インシュアリキッドは凍らせて少量ずつ口に含ませれば誤飲しにくく、摂取しやすい。

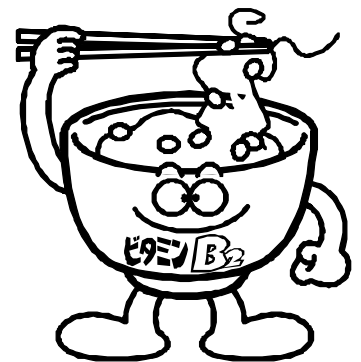


Q . 「味覚は学習である」と言われたが高血圧症で食習慣を変えざるを得ない(塩分制限)場合どうすれば満足してもらえるか？

A . 「分かっているがやめられない」こともある。食習慣(味の好み)はまず変えられない。介護する側がいかに相手を受け止めるか。信頼感を得た上で一品は好きなものを出す。ダシを強くとり、目の前で調味料をかけるなどの工夫が必要。

Q . 誤飲を防止するのにゼラチンや寒天でトロミをつけるなどの工夫をすればということだったが、どのように使い分ければいいのか。

A . ゼラチンは口の中に入れてただけで溶けるが、寒天は海草なので口の中では溶けない。また、繊維が多いので腸の悪い人には不向きである。ケアをする相手の状態に応じて使い分けなければならない。



この他にも「青魚には脳の老化を遅らせる物質が多く含まれている」「噛むことによって食欲が増進され、消化器の運動が活発になる。脳の刺激にもなるので、安易にミキサー食に頼らないほうがいい。」などのアドバイスをいただきました。

アンケートの結果です

回答 51 人：参加者 55 人
(複数回答あり)



ご協力
ありがとうございます
ございました

あなたの勤務先を教えてください

特別養護老人ホーム	22人
在宅サービス	6人
デイサービス	1人
病院・医院	3人
療養型病床群	1人
老人保健施設	1人
救護施設	2人
社会福祉協議会	2人
福祉公社	2人
保健センター	1人
その他	6人
無回答	4人

あなたの職種を教えてください

(複数回答あり)

ヘルパー	5人
介護支援専門員	3人
介護福祉士	7人
保健婦	3人
看護婦	3人
寮母	8人
栄養士	14人
調理師	1人
その他(学生など)	5人
無回答	2人

あなたの勤務形態は？

常勤職員	35人
非常勤職員	7人
登録	3人
その他	4人
無回答	2人



今日のセミナーについての感想をお願いします。

今日は来て良かったですか？

はい	49人
いいえ	0人
どちらともいえない	2人
無回答	0人

今日の内容は良かったですか？

はい	49人
いいえ	0人
どちらともいえない	2人
無回答	2人

今後も参加したいと思いますか？

はい	41人
いいえ	0人
どちらともいえない	8人
無回答	2人



セミナーへの
コメントを
いただきました

とてもよく分かりました。仕事のうえでとても参考になりました。

専門家のしっかりした内容で充実していた。

もっと現場での実務的なことのお話を伺いたかった

噛むことの重要性を再認識させていただきました。嚥下状態が低下したと思ってすぐミキサー食などにするのではなく、少しでも自分で噛めるように心を配るようにしなくてはいけないと反省しました。

今までの栄養学のセミナーで一番分かりやすかった。身体側などさらに掘り下げて聞きたかったと思う。PART2・3を期待する

仕事の悩みや困っていることがありますか？

- ・利用者のわがまま
- ・障害者施策の動向に不安を感じています。
- ・残業が多い、夏期休暇がとりにくい
- ・職員教育、育成について
- ・食事。給食会社に委託しているので、思い通りにならない部分がある。

職場や身近なところに労働組合や悩みの相談ができる場所があればいいと思いますか？

はい	32人
いいえ	1人
わからない	4人
無回答	14人

INFORMATION

介護に関するニュースや情報の提供・情報交換のコーナーです。

ケアハウス 10000 ヶ所を増設

政府はケアハウスを国の補助金なしで全国に1万ヶ所建設する構想を検討に入った。ケアハウス不足の解消のほか、建設関連などで新たに15万人程度の雇用創出につなげるのが狙い。2001年3月で全国に約44000人分の施設があるが、需要はこの数倍はある見込み。今後、高齢化に伴い供給不足の深刻化が予想されている。



構想では、地元自治体が廃校となった学校跡地など遊休地を無償か格安で提供し、企業のノウハウを使い社会资本を整備するPFI的手法を導入することで社会福祉法人が4億円以上かけていた建設費を3億円程度に圧縮する考え。

(日経新聞9月3日)

仕事の悩み相談や研修情報は

じちろうの
介護ワーカー
サポートダイヤル
0120-768-068

相談時間：10:00~17:00

(月~金：祝祭日を除く)

メールでの相談は、

kaigo@ns.jichiro-osaka.gr.jp

訪問介護事業、軌道に コムスン黒字化

訪問介護専門のコムスンが4-6月期に黒字化したのははじめ、ニチイ学館、ジャパンケアサービス、メデカジャパンの主要各社でも訪問介護分野で黒字転換のメドがついた。

コムスンは介護保険導入当初1200ヶ所に展開したヘルパー拠点を今年3月までに約300ヶ所に統廃合した。需要のある地域に集約した結果、顧客数は4月からの3ヶ月で10%増加した。また、顧客一人当たりの介護報酬も身体介護の比率

上昇や顧客の要介護度の進展とともに増えており、昨年4月より2割以上高くなったため。(日経新聞8月29日)

老健“進む特養化” 全国老健施設東京大会

全国介護老人保健施設東京大会が8月20日から22日にかけて東京で開催された。大会では、「特養の代わりに利用する“第2特養化”が目立つ」等の意見が出され、老健施設の抱える課題が浮き彫りになった。

“第2特養化”から本来の在宅復帰の役割を果たすためには、ホームヘルパーやデイケアなど地域の在宅介護サービスを充実させることが必要という意見が相次いだ。

(読売新聞9月4日)

痴呆高齢者の要介護認定で 日本医師会が提案

正確さが問題になっている痴呆高齢者の要介護認定について日本医師会は徘徊などが見られるものの日常生活はほぼ自立している“元気痴呆”老人は2次判定で要介護3程度とするのが妥当とする調査結果を発表し、厚労省にシステムの改善を促した。現行システムでは、要介護1で出ることが多く、自治体独自の判断で要介護度を引き上げていた。(読売新聞9月5日)

ひとりごと...

Well Care を出すことにしてから毎日、記事を探して新聞とにらめっこ。あるようで無い、無いようであるのが介護関係の記事。INFORMATION に載せる皆さんに役立つ記事を探すことが自分の勉強にもなると思って、今日も新聞と格闘中です。(M)